

秋の生きもの

秋の北の丸公園では多くの植物が実をつけます。赤や茶など綺麗な色から、緑や茶色など目立たないものまで様々です。運が良ければ、鳥たちが実を食べる様子を観察できるかもしれません。



ヤマガラ シジュウカラ科ヤマガラ属 林
エゴノキ エゴノキ科エゴノキ属

北の丸公園では右表に示す多くの生物が生息しており、千代田区内でも生物の多様性が高い場所です。

秋の公園内は、モミジ林で赤や黄色の紅葉が、園道では黄色いイチオウの葉、赤く色づいたヒガンバナや赤とんぼで華やかに彩られます。草地や林からは様々なバットの美しい鳴き声が聞こえてきます。暑さも和らぎ歩きやすい季節となりました。色や音から深まる秋をお楽しみください。

項目	種数	希少種
植物	719種	17種
鳥類	51種	22種
水生生物	49種	14種
両生類・爬虫類	9種	7種
陸産貝類	30種	2種
昆虫類	957種	17種



コノシメトンボ トンボ科アカネ属



ナツアカネ トンボ科アカネ属



アキアカネ トンボ科アカネ属

公園の赤とんぼ

公園内で確認されている赤とんぼの仲間では代表的なものは夏頃からよく見られるナツアカネと、秋になると多くなるアキアカネです。2種とも公園内の至る所で見つかりますが、薄暗い場所の枝や柵の上を注意して見ると、暗い場所を好むコノシメトンボなど他の赤とんぼも見つかるはずですよ。

秋の木の実

秋は多くの植物が実をつけています。クロガネモチは赤い実、クサギは実の周りを赤くして鳥が見つけやすくしています。クヌギ等のドングリは地面に落ちていますが、種類によって形が違っているので、注意して見てみましょう。



クロガネモチ モチノキ科モチノキ属



クサギ シン科クサギ属



クヌギ ブナ科コナラ属



モズ モズ科モズ属



チチアワタケ ヌメライグサ科ヌメライグサ属



ススキ イネ科ススキ属



ニホンカナヘビ カナヘビ科カナヘビ属



ヒガンバナ ヒガンバナ科ヒガンバナ属



タイワンホトトギス エリシマ科トギス属



ウラナミシジミ 沢島科シジミ属



ミゾゴイ サギ科ミゾゴイ属



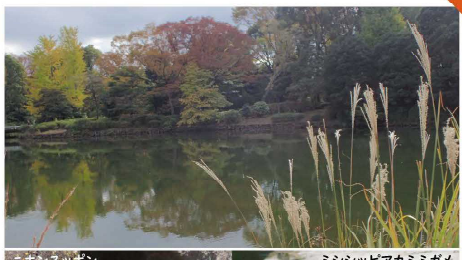
クルマバタ バッタ科Gastrimargus属

秋

北の丸公園の生き物 ～環境別～

Autumn Ver.

多くの生き物は、種ごとに異なる資源（食べ物、生息場所、活動時間など）を利用して生活しています。北の丸公園には樹林、草地、水辺など様々な環境があるため、公園全体では沢山の種類の生き物が確認されています。



水辺



ニホンシッポン



ミシシippアカミガメ



アメリカザリガニ



ウシガエル

～池にいる2種類のカメと外来生物～

公園内の池にはニホンシッポンとミシシippアカミガメが生息しています。このうち、ミシシippアカミガメはペットとして飼われていたものが野生化したため、池の生き物を食べてしまう問題が発生しています。同じように外来種のアメリカザリガニやウシガエルも池の生き物を食べてしまうので、北の丸公園では防除に取り組んでいます。飼育している生き物を野に放つと、このような問題が発生することがあるので、責任をもって最後まで飼いまししょう。

●公園内は採集禁止です。
●園路から観察してください。



草地



トノサマバタ



ショウリュウバタモドキ



ウスイロサカリ



クビキリギス

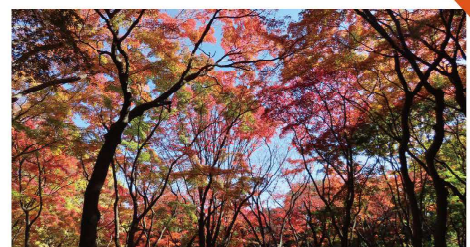
～草地にみられるバットの食性～

公園内では30種のバットの仲間が確認されており、特に開けた明るい草地には様々なバットが生息しています。バットの食性は、トノサマバタやショウリュウバタモドキ等はイネ科の葉を食べる草食性です。ウスイロサカリやクビキリギス等は草以外にも昆虫の死骸等を食べる雑食性です。同じ草むらのバットでも、異なるものを食べることで共存しています。

水辺 WaterFront

草地 GrassLand

樹林 Grove



樹林



オオカマキリ



ハラビロカマキリ



ヨコカマキリ



ヒナカマキリ

～住み分ける4種のカマキリ～

公園内では4種のカマキリが確認されていますが、種ごとに異なる環境で上手にすみ分けています。オオカマキリは林縁の低木などの上に、ハラビロカマキリは樹上に、ヨコカマキリは草地に、ヒナカマキリは林内の落ち葉の上にみられます。なお、ヒナカマキリは日本最小のカマキリで、成虫になっても2cmほど。都区部ではなかなか見ることができません。カマキリはいずれも肉食の昆虫ですが、暮らす場所が少し違えば餌を奪い合う必要がないのです。



周辺の情報は
こちらへ